

ビオトープ・イタンキ通信 第5号

NPO法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭 2014年4月1日

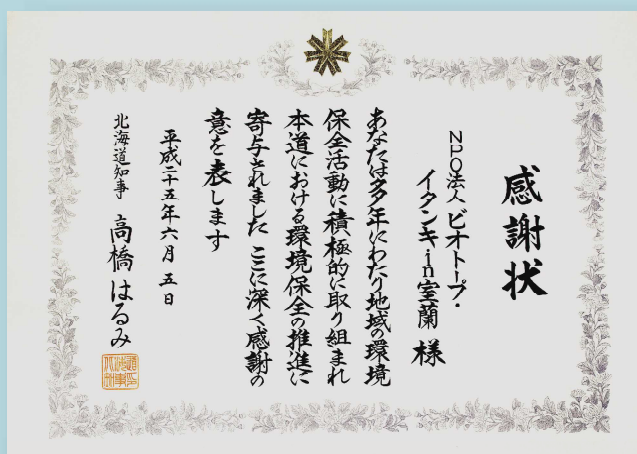
NPO 法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭では「ホテル再び、人にやさしい街・室蘭」を合い言葉にビオトープ作りを進めています。原始のままの海岸線、鳴り砂の浜に続く草原の一角に、今は失われてしまった湿地を復元し、子供たちが生き物と触れ合える場の再生を目指しています。

◆平成 25 年度環境保全功労者表彰

北海道知事より環境保全功労者表彰があり、平成 25 年 7 月 11 日の「いぶりガイアナイト 2013」のオープニングで感謝状が授与されました。

ビオトープ・イタンキが「市民の環境教育の場として、イタンキ浜近くに『獲物のあるビオトープ』をつくり、トンボの羽化やホテルなど季節のテーマに沿っ

た観察会の開催や自然体験学習の受け入れ、植物や植樹などの保全活動を行い、地域の環境保全意識の向上に貢献した」ことが評価され、今回の表彰となりました。



◆ごちそうさん、イタンキ

ビオトープでは池の周りに苗木を植えて森を作る活動もしています。苗木は成長の早い雑草に負けるので6月から9月迄の間に2～2回の草刈りをします。夏はドクガにかぶれたり、草負けしたり、あまりの暑さに倒れそうになったりの作業ですが、去年は大変嬉しい発見がありました。背丈程に伸びた雑草の中にキノコの大群落があったのです。まるでキノコのじゅうたんのようにつくさん！うす紫の上品なキノコ。きのこの会の西原先生の話によると食用の「コムラサキシメジ」だそうで、ゆでて三杯酢で食べてみたところ、とてもおいしかったです。(金谷広子)

